NIE実践報告

1．タイトル：☆新聞作成を通して情報収集及び活用能力を高める

2．学校名

新潟県長岡市立堤岡中学校

3．実践者名（代表者名）

星野晴重

4．学年

第3学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

選択教科（新選択NIE）　20人

6．単元（本時の学習課題）名

「中学生と携帯電話」～　新聞作成を通して中学生の携帯電話利用について考える ～

7．目標(狙い)

「携帯電話と中学生」について情報を収集し、新聞にまとめ、それらをもとに話し合うことを通して自分自身の携帯電話とのかかわりや利用の仕方について考えを深める。

8．評価の視点

各グループの新聞をテーマにそった的確な内容と構成かどうか吟味することを通して、自分自身の携帯電話とのかかわりについて考えを深めていたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数

（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

当校の今年度の選択教科は前・後期制をとっており、それぞれ18時間ほどである。新選択は、その18時間を「NIE」「読解力」「キャリア」の3コースで構成しているため、各コース5~　6時間である。

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

時　間	主な学習内容	学習活動
1	新聞に親しむ	1人1日分の新聞に目を通し、改めて新聞について感じたことを発表する。
2	新聞と地域	長岡に関する新聞記事を探し、身近なところや身近なことが話題となっていることを知り、新聞に対する親近感をもつ。
3	新聞を読み取る	共通の新聞記事について5W1Hによる読み取る方法について学ぶ。記事に対して自分の考えや感想をもつ。
4 5	新聞を読み取る	自分で興味ある新聞記事を探し、5W1Hで読み取り、記事に対して自分の考えを持ち、それを発表し合う。
6	自分の考えを発信する	新聞記事感想文や新潟新潟日報の投書に挑戦する。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

生徒は、携帯電話の長所と短所、中学生の保有率、親の意識などさまざまな情報を集めて整理し、パソコンを使って新聞にまとめた。携帯電話が中学生に与える影響などの新聞記事を提示することで一層の関心を高めていた。

12．成果と課題

現在の中・高生の取り巻く状況を考えると中学生の時に、携帯電話について授業を行うことの意義は大きい。携帯電話に関する新聞記事は、毎日のように掲載されている。生徒は、最近の中学生が携帯電話をもつことの長所と短所、中学生の保有率などさまざまな情報を集めて整理し、新聞にまとめ、「携帯電話と中学生」というテーマにそって理解を深めていた。新聞をいかに論説といった点から作成したり、吟味したりするかが課題である。